

Ⅰ コンピテンシ ディクショナリ 活用システム ユーザマニュアル

（スキル編）第 2.1 版

更新履歴

版数	改訂日	改訂内容	改訂箇所
1.0	2015/6/30	初版	
1.1	2015/08/21	帳票出力ツールの公開に伴う帳票ツールのダウンロード機能追加	4. 診断結果の参照 (3) 帳票出力ツールの取得方法
2.1	2016/6/6	スキルと関係する研修情報、資格情報の表示機能追加	4. 診断結果の参照 (1) 診断結果の表示

目次

はじめに	1
1. 本書の構成	1
2. 共通事項	1
3. 利用上の注意	1
3. セキュリティおよび個人情報の取扱いについて	2
4. 商標について	2
業務フロー	3
マニュアル	5
1. 個人利用の申込み	5
2. スキルレポートの作成とスキル診断	8
2.1 ログイン処理	8
2.2 スキルレポートの作成	10
2.3 スキルの診断	13
3. 情報処理技術者試験合格情報の入力	14
4. 診断結果の参照	15

はじめに

はじめに

1. 本書の構成

本書は「業務フロー」と「マニュアル」の2部で構成されています。
「業務フロー」では、i コンピテンシ デictionary活用システム（以下、「iCD 活用システム」と略す）を効果的に活用するための一連の業務の流れを説明しています。業務フロー中に記載されている「マニュアル」の章・節に従い該当箇所を参照することで、全体の流れをつかみながら、操作の詳細を確認することができます。

2. 共通事項

iCD 活用システム（ログイン後）の画面の基本構成は以下の通りです。



- ログイン ID
現在ログイン中のユーザの ID が表示されます。ここをクリックすると、ログアウトやパスワードの変更を行うことができます。
- メッセージエリア
実行した操作の結果やエラーメッセージ等が表示されます。
- メニューエリア
選択可能な操作のメニューが表示されます。メニュー項目をクリックすると、画面の表示が切替わり、該当する操作を行うことができます。メニュー項目によっては、クリックすると、サブメニューが表示されます。
表示されるメニューは、現在選択されているユーザモードによって異なります。

3. 利用上の注意

iCD 活用システムを利用に際して注意が必要な事項について説明します。

(1)動作環境

- ウェブ標準（W3C が勧告している WWW 関連の規格）に準拠したブラウザが利用可能です。
- 各ブラウザ・バージョンの特性により正しく動作しない場合があります。下記のブラウザ・バージョンでの動作を確認しています。
 - ・ Google Chrome 50.0
 - ・ Firefox 45.0
 - ・ Internet Explorer 11

iCD 活用システムは、第三者によるデータの盗聴や改ざんなどを防ぐために SSL を使用します。
利用するブラウザでは、TLS1.2 が有効となるように設定して下さい。

【Internet Explorer（IE）11 をご利用の方へ】

- IE を使って活用システムの利用で動作不良が発生する場合は以下の事項を確認してください。
 - TLS1.2 が有効となっていることを以下の手順でご確認ください。
 - (1) IE を起動する
 - (2) 「ツール」 「インターネットオプション」 「詳細設定」を開く
 - (3) 「設定」内にある「TLS1.2 の使用」にチェックを入れる
 - (4) 「OK」ボタンを押下する
- IE で「TLS1.2」が使用できるのは、Windows7 以降の OS となります。OS のバージョンが古い機種で本システムを利用する場合、IE 以外のブラウザをご使用ください。
- 動作モードが最新となっていることを以下の手順でご確認ください。
 - ・ ツール> 互換表示設定の対象に当システムが含まれていないこと
 - ・ ツール> F12 開発者ツールを選択して表示されるエミュレーションのドキュメントモードが Edge（最新）であること

(2)利用上の規則

「4. セキュリティおよび個人情報の取扱いについて」に記載の通り、iCD 活用システムには、組織利用の申し込み情報を含む一切の個人情報を入力することはできません。

(3)その他

iCD 活用システム、ならびに関連資料は、予告なく変更、削除されることがあります。

はじめに

3. セキュリティおよび個人情報の取扱いについて

(1)個人情報の取り扱いについて

iCD 活用システムには、組織利用の申込み情報を含む一切の個人情報を入力することができません。したがって、iCD 活用システムは一切の個人情報を保持しません。

個人情報とは

「個人情報」とは、氏名、住所、勤務先、役職、業種、職種、電話番号、FAX 番号、電子メールアドレス等の連絡先に関する情報、クレジットカード番号、銀行口座番号等個人を識別できる情報、あるいは趣味嗜好等利用者個人の固有の情報を意味します。

なお、iCD の改善と普及を目的とした利用状況の集計、分析にかかわる以下のデータを収集させていただく場合があります。

< iCD 活用システムから収集するデータ >

- ┆ 各利用組織の利用者数（ユーザ登録数）ならびにシステム利用頻度（ログイン回数）
- ┆ 各利用組織で自タスクとして利用している iCD タスクディクショナリ数、ならびに利用箇所
- ┆ 各利用者が利用している iCD スキルディクショナリ数、利用箇所、ならびに利用頻度（ログイン回数）

(2)クッキー(Cookie)および web ビーコンの取り扱いについて

iCD 活用システムにアクセスした際に、利用者の Web ブラウザに対してクッキーや Web ビーコンを使用することがあります。

クッキーや Web ビーコンには個人を特定する情報は含まれていません。利用者がサービスまたは Web サイトで個人情報を入力しない限り、利用者個人を特定することはできないため、匿名性は維持されます。

iCD 活用システムの利用者がクッキーの利用を望まない場合は、ご使用の Web ブラウザでクッキーの受け入れを拒否するように設定することができますが、システムの機能が正常に動作しません。

(3)アクセスログについて

iCD 活用システムでは、システムの安定した稼働を期するために、アクセスログを収集しています。アクセスログとして IP アドレスやブラウザの種類、ドメインネームなどの項目を収集していますが、個人情報と紐付けて利用することはありません。

4. 商標について

iCD 活用システム、ならびに本書に記載されているシステム名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

- ┆ Microsoft、Microsoft Excel および各ロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ┆ 本文および図表中では、「™」、「®」は省略しています。

業務フロー

iCD活用システムの利用
 その他の業務
 マニュアル参照先（章・節）

ステージ		個人利用者	備考
個人利用の申込み	(1) 個人利用の申込み	<div> <div>①iCD活用システムの概略やどんなことができるかを理解する。</div> <div>↓</div> <div> <div>②個人利用の申込み手続きをする。 ウィザードに従い、利用約款の確認、アンケートへの回答、パスワードの設定等を行う。</div> <div>↓</div> <div>ウィザードの最終画面に表示されるユーザIDとパスワードを確実に記録する（※1）。</div> </div> <div>1.個人利用の申込み</div> </div>	※1 ログインID、パスワードは再発行できません。大切に記録、保管します。
	(2) ログイン	<div> <div>③(1)で記録したログインID、パスワードを使ってログインする。</div> <div>2.スキルレポートの作成とスキル診断 2.1 ログイン処理</div> </div>	
スキルレポート作成とスキル診断	(3) スキルレポートの作成	<div> <div>④メニューから「スキルレポートを作る」を選択する（※2）。</div> <div>↓</div> <div>⑤目標とする職種を選択し、関連するスキルをスキル一覧上でハイライトする。</div> <div>↓</div> <div>⑥ハイライトされたスキルから、自分が習得したいスキルを選択しマークをつける。</div> <div>↓</div> <div>⑦スキルレポートを保存する（※3）。</div> </div> <div>2.スキルレポートの作成とスキル診断 2.2 スキルレポートの作成</div>	※2 スキルレポートは、スキルディクショナリから目的に応じて選択した自分用のスキル一覧です。
			※3 スキルレポートの保存先は5つ用意されています。スキルを選択してマークをつけた結果やスキル診断結果を保存することができます。

ステージ		個人利用者	備考
スキルレポート作成とスキル診断	(4) スキル診断 作成したスキルレポートの各スキル項目について自己診断する。	<div><div>⑨スキル診断をするスキルレポートを呼出す（※4）。</div><div>⑩呼出したスキルレポートの各スキルについて、スキル熟達度の回答基準に則して保有レベルを入力する。必要に応じて各スキル項目の関連知識を確認したり、スキルレベルの診断理由を備考として記録する。</div><div>⑪スキル診断が完了したら、保存先を指定してスキルレポートを保存する（※3）。</div></div> <div>2.スキルレポートの作成とスキル診断 2.3 スキルの診断</div>	※4 スキルレポート作成画面には、最後に表示したスキルレポートが表示されます。他のスキルレポートを使用する場合には、保存されているスキルレポートのデータを呼出します。
試験情報の入力	(5) 情報処理技術者試験合格情報の入力 情報処理技術者試験の合格情報を入力する。	<div><div>⑫メニューから「情報処理技術者試験の合格入力」を選択する。</div><div>⑬合格している試験名称を選択して保存する（※5）。</div></div> <div>3.情報処理技術者試験合格情報の入力</div>	※5 スキルレポートを出力する際に、入力した試験名称に関連したスキル項目に、試験の技術レベルが表示されます。
診断結果の出力	(6) 診断結果の参照 スキルレポートを出力する。	<div><div>⑭メニューから「スキルレポートを出力する」を選択する。</div><div>⑮参照する診断結果が保存されているスキルレポートをスキルを呼出す（※6）。</div><div>⑯診断・判定結果出力を活用するために、PDFファイルや電子データとしてダウンロードする。</div></div> <div>4.診断結果の参照</div> <div>スキルレポート (PDF、CSV)</div>	※6 スキルレポート出力画面には、最後に表示したスキルレポートが表示されます。他のスキルレポートを使用する場合には、保存されているスキルレポートのデータを呼出します。

マニュアル

1. 個人利用の申込み

i コンピテンシ ディクショナリ活用システムの利用手続きをします。

(1)i コンピテンシ ディクショナリ活用システムの利用手続き開始

i コンピテンシ ディクショナリ活用システムの案内サイトに記載されている URL にアクセスして、[画面 1：ログイン画面] を表示します。
「i コンピテンシ ディクショナリ活用システム」を利用する ID を取得するために、[はじめて利用する方はこちらから手続きをしてください] をクリックして、利用手続きを開始します。

利用手続きは以下の手順で行います。完了するまで一時中断や保存をすることはできません。完了できない場合は、改めて最初から実行します。

- ┆ STEP1：パスワードの作成
- ┆ STEP2：画像認証文字の入力
- ┆ STEP3：利用規約の確認
- ┆ STEP4：アンケートの回答
- ┆ STEP5：ログイン情報の確認

(2)STEP1：パスワードの作成

表示される [画面 2：パスワード作成画面] にパスワード を入力します。

パスワードは 8 文字以上で、パスワード強度が [良い] または [強い] となる文字列を入力します。

入力した値の長さ、種類（英字、数字、記号）の組合せに応じて、[パスワードの強度] の表示が、
「短い」「悪い」「良い」「強い」
の順に高くなります。

[次へ] ボタン を押すと [画面 4：画像認証文字入力画面] が表示されます。

[リセット] ボタン を押すと、入力した値がクリアされます。

画面 1：ログイン画面

画面 2：パスワード作成画面

画面 3：パスワード設定画面（設定後）

(3)STEP2：画像認証文字の入力

画像で表示された値（英数字） を入力 して、[次へ] ボタン を押します。
正しい値が入力されると、[画面 6：利用規約の確認画面] に移行します。

謝った値が入力されると、[画面 5：画像認証エラー画面] が表示されます。
[確認] ボタン を押して [画面 4：画像認証文字入力画面] に戻り、改めて表示された値を入力します。

表示された画像の文字がわかりにくい場合は、[画像を変更] ボタン を押して、別の画像を表示することができます。

画面 4：画像認証文字入力画面

画面 5：画像認証エラー画面

マニュアル 1. 個人利用の申込み

(4)STEP3：利用規約の確認

表示された利用規約の内容を読み、「利用規約に同意する」チェックボックス をチェックし、[次へ] ボタン を押すと、[画面 8：アンケート回答画面] に移行します。

「利用規約に同意する」をチェックしないと [次へ] ボタンは有効となりません。

(5)STEP4：アンケートの回答

表示された各アンケートの質問について、該当する回答の選択肢をクリックし、[次へ] ボタン を押して [画面 8：確認ウィンドウ (アンケート回答の確認)] を表示します。

回答漏れがあると、[次へ] ボタンを押した際に、該当項目がハイライトされます ([画面 7：アンケート回答画面] 参照)。

アンケートはi コンピテンシ ディクショナリの改善に活用するものですので、ご協力をお願いします。なお、アンケートの質問や回答の選択肢は予告なく変更されることがあります。

表示された確認ウィンドウの [はい] ボタン を押すと、入力したパスワード、利用規約の同意、ならびにアンケートの回答が登録されて、[画面 9：ログイン情報確認画面] が表示されます。
[いいえ] ボタン を押すと、[画面 7：アンケート入力画面] に戻ります。

画面 6：利用規約確認画面

以下の利用規約をお読みください。
同意いただける場合は、「利用規約に同意する」をチェックし、「次へ」ボタンを押してください。

i コンピテンシディクショナリ活用システム利用規約

(2015.6.30 現在)

独立行政法人情報処理推進機構（以下、「IPA」といふ）の所管する、i コンピテンシディクショナリ活用システム（以下、「本サービス」といふ）を利用するユーザ（以下、「ユーザ」といふ）は、本利用規約（追加の改訂版を含む。以下、「本規約」といふ）に同意して本サービスをご利用ください。本サービスをご利用になった場合、本規約の内容に同意したものとします。なおIPAは、随時のバージョンアップ等により、本サービスの内容を変更していく予定です。

1. ユーザは、IPAが本サービスを提供している期間中、ユーザに明示的に提示されているすべての機能を無料で利用できます。
2. ユーザは、まず登録フォームに述べて利用申請を行い、本サービスを利用するためのIDとパスワードの発行を受けて下さい。なお、IPA はIDやパスワードを廃棄しませんので、ユーザは、これらを忘失等しすると本サービスの利便性や利用がとぎやくなる場合があります。
3. ユーザは、IDとパスワードを真正を持って管理し、他人に譲与・譲渡等しないください。これらの譲与、他人による不正使用などに起因する 自己または他人の 損害、第三者との紛争などについて、IPAは一切責任を負いません。
4. 本サービスは、検索・閲覧・プログラムコードなどについて著作権の所有権・特許の専有権を有します。従って IPAは、システムの利用・複製等を制限せず、またユーザが本サービスで作成したデータの複製を許可しません。また、データ漏れ等発生した場合は、IPAは一切の責任を負いません。
5. 本サービスの利用によって権利帰属の争い等生じ、ユーザが自己の責任で行ってください。
6. IPAは、サーバメンテナンス、システムへの不正侵入、漏洩などの被害、その他必要と認めた場合、中断して、または事項によっては予告なく、本サービスの全部または一部を一時的に停止し、または終了する場合があります。この場合、IPAは特らの補償等いたしません。
7. IPAは、本サービスの利用状況や利用履歴等を把握するため、ユーザを特定しない範囲で、本サービスの利用状況等に基きデータを収集し利用することがあります。
8. 本サービスの利用にあたり、以下に該当し、またはその恐れのある行為を禁止します。
(1) 自己または他のユーザによるデータの不正侵入、漏洩などの被害、その他必要と認めた場合、中断して、または事項によっては予告なく、本サービスの全部または一部を一時的に停止し、または終了する場合があります。
(2) 本サービスがユーザに明示的に提示している機能の範囲以外の目的で、本サービスにアクセスし、または利用する行為
(3) IPAまたは第三者（特定が不可能なものを除く）の権利・利益・名誉その他の正当な法的利益を侵害または毀損し、またはその範囲の内部に不正な行為を及ぼすこととなる利用行為
(4) 法令や公序良俗に違反し、または違法な行為や損害を生ずることとなる利用行為
(5) 本サービスの全部または一部を、IPAの許可なく複製するサービスと類似、近似的な行為
(6) その他、IPAが随時発生する行為
9. ユーザが次のいずれかに該当する場合は、IPAは、本サービスの利用申請を拒否し、または利用の手続きを中断し取り止めて当該ユーザへの本サービスの提供を停止する場合があります。
(1) 詐欺、不正行為等不正な利用申請が行われた場合
(2) 本規約に違反する場合
(3) 自己または他のユーザのIDやパスワードを用いた他人の権利侵害行為を、故意、過失等した場合
10. 本サービスに関するお問い合わせ等への IPA の対応につきましては、随時変更なし。随時改訂版の改訂とさせていただきます。
11. 個人情報の取り扱いについては、IPAの個人情報保護方針に従います。
12. IPAは、本規約の内容を予告なく改訂することがあります。その場合、ユーザごとに改訂後の利用行為から適用します。

以上

利用規約に同意する

次へ

画面 7：アンケート回答画面

以下のアンケートにお答えいただけますようよろしくお願いします。

年齢をお聞かせください。 ☐ 10-20代 ☒ 30代 ☐ 40代 ☐ 50代 ☐ 60代以上

所属する業種をお聞かせください。 ☒ IT企業 ☐ 非IT企業（ユーザー企業） ☐ 教育機関 ☐ 業界団体、学会、官公庁等 ☐ 学校 ☐ その他

所属先でのお立場をお聞かせください。（複数回答可） ☐ 人材育成部門 ☐ 総務・人事部門 ☐ 経営者・経営管理部門 ☐ 情報システム部門 ☐ 営業・マーケティング部門 ☐ コンサルティング部門 ☒ システム開発部門 ☐ システム運用部門 ☐ 研究・開発部門 ☐ 教員・講師 ☐ 学生 ☐ その他

本システムを知ったきっかけをお聞かせください。 ☐ IPAのWebサイト ☐ IPAからのメール ☐ 各種団体などからのご案内 ☐ 所属先、知人等からのご紹介 ☐ Google等の検索エンジン ☐ Twitter、FaceBookなどのSNS ☐ その他

入力必須項目です。

本システムを利用する目的をお聞かせください。 ☒ 自己スキルの習得 ☐ 学習計画立案の参考 ☐ その他

次へ

画面 8：確認ウィンドウ（アンケート回答の確認）

登録します。よろしいですか？

(6)STEP5：ログイン情報の確認

[画面 9：ログイン情報確認画面]が表示されると、i コンピテンシ ディクショナリ活用システムの利用手続きは完了です。

表示されたログイン ID とパスワード を保存します。

保存した方法を[ログイン ID /パスワードの保存完了チェック欄] で1つ以上選択して[ログインする]ボタン を押すと、「i コンピテンシ ディクショナリ活用システム」にログインします。
引き続きシステムを使用する方法は、「2.2 スキルレポートの作成」を参照してください。

[PDF で表示]ボタン を押すと、ログイン ID ならびにパスワードが記載された PDF ファイルが生成されて表示されます([画面 10：ログイン情報 PDF ファイル表示画面]参照)。
ファイルを印刷するか、保存します。

[ログイン ID /パスワードの保存完了チェック欄]のいずれか1つ以上を選択しないと[ログインする]ボタンは有効になりません。

ログイン ID、パスワードは再発行されません。ログイン ID とパスワードは忘れないように、確実に保存してください。

画面 9：ログイン情報確認画面

STEP(5/5)：ログインIDとパスワードを確認する

登録が完了しました。

ログインID hoTY2V72DW
パスワード password12345

PDFで表示

登録したログインIDとパスワードは必ず保存してください！
本サイトでは利用者の識別情報を一切保持しないため、ログインID、パスワードの再発行はできません。
そのため、ログインIDとパスワードを忘れてしまうと、二度とログインできなくなります。
ログインIDとパスワードの管理は十分にご注意ください。

ログインID/パスワードの保存完了チェック欄

☐ この画面（もしくはPDF）を印刷しました。
☐ PDFファイルをダウンロードして保存しました。
☐ ログインIDとパスワードをメモしました。

ログインする

画面 10：ログイン情報 PDF ファイル表示画面

i Competency Dictionary

登録したログインIDとパスワードは必ず保存してください！

本サイトでは利用者の識別情報を一切保持しないため、ログインID、パスワードの再発行はできません。
そのため、ログインIDとパスワードを忘れてしまうと、二度とログインできなくなります。
ログインIDとパスワードの管理は十分にご注意ください。

ログインID	hoTY2V72DW
パスワード	password12345

2. スキルレポートの作成とスキル診断

2.1 ログイン処理

(1)ログイン処理

利用手続きの際に保存したログイン ID、パスワード（またはその後再設定したパスワード）を〔画面 1：ログイン画面〕に入力して、〔ログイン〕ボタンを押します。正しくログインできたら、〔画面 2：TOP 画面〕が表示されます。

〔リセット〕ボタンを押すと、入力したログイン ID、パスワードがクリアされます。

ログイン処理を 10 回連続して誤るとロックアウトされ、しばらくの間システムを利用できなくなります。また、ログイン ID、パスワードの再発行はできません。

TOP 画面には、IPA から発行された「お知らせ情報のヘッドライン」が、新しい順に表示されます。

お知らせ情報のヘッドラインのリンクをクリックすると、詳細情報が表示されます（再度リンクをクリックすると、表示は閉じます）。

画面 1：ログイン画面

画面 2：TOP 画面

(2)パスワード変更

安全な利用のために、長期にわたって同じパスワードを使用せず、定期的に変更します。

パスワードの変更には、画面の右上に表示されているログイン ID をクリックして表示されるサブメニューの〔パスワード変更〕をクリックして、〔画面 4：パスワード変更画面〕を表示します。

画面 3：TOP 画面（パスワード変更）

〔現在のパスワード〕8 文字以上でパスワード強度が〔良い〕または〔強い〕となる〔新パスワード〕〔新パスワードの確認入力〕を入力します。

ログイン ID や現在のパスワードと同じ新パスワードは受け付けられません。

〔更新〕ボタンを押すと〔画面 4：確認ウィンドウ（パスワード変更の確認）〕が表示されます。

〔リセット〕ボタンを押すと、入力した値がリセットされます。〔キャンセル〕ボタンを押すと、〔画面 2：TOP 画面〕で〔パスワード変更〕をクリックする前の状態に戻ります。

画面 4：パスワード変更画面

画面 5：確認ウィンドウ（パスワード変更の確認）

〔画面 5：確認ウィンドウ（パスワード変更の確認）〕で〔はい〕ボタンを押すと、パスワードが更新されて、〔画面 6：パスワード設定の確認画面〕が表示されます。新パスワードを忘れないように記録し、〔確認〕ボタンを押します。

〔いいえ〕ボタンを押すと、〔画面 2：TOP 画面〕で〔パスワード変更〕をクリックする前の状態に戻ります。

画面 6：パスワード変更の確認画面

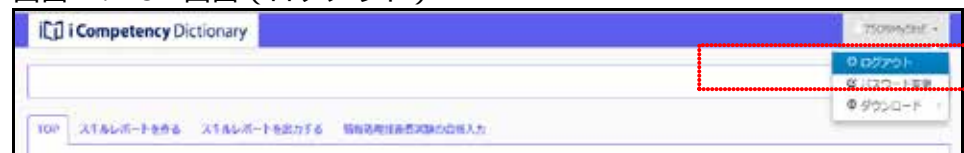
(3)ログアウト

システムの利用を終了する場合は、画面の右上に表示されているログイン ID をクリックして表示されるサブメニューの [ログアウト] をクリックします。

画面 1 : TOP 画面



画面 2 : TOP 画面 (ログアウト)



[画面 3 : 確認ウィンドウ (ログアウト)] の [はい] ボタン を押します。
[画面 4 : ログイン画面] が表示されると、正常な終了処理が完了です。

[いいえ] を押すと、ログアウトをクリックする前に戻ります。

改めてシステムを利用するには、「(1)ログイン処理」に従いログインします。

画面 3 : 確認ウィンドウ (ログアウト)



画面 4 : ログイン画面

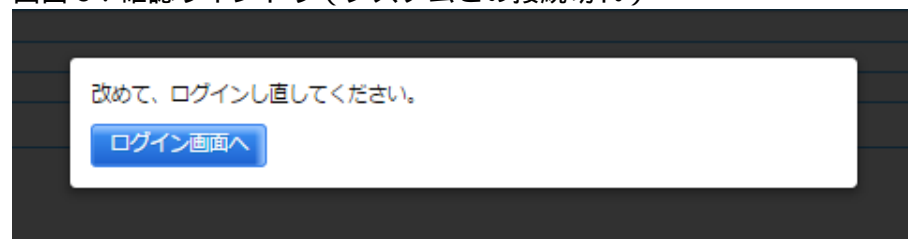


(4)利用時のタイムアウト

ログイン後、一定時間、操作を行わないと、セキュリティ上、ならびにシステム負荷軽減のために、システムは接続を切断します。

操作を再開した時点で [画面 5 : 確認ウィンドウ (システムとの接続切れ)] が表示されます。改めてシステムを利用する場合は、[ログイン画面へ] ボタン を押して、ログインし直します。

画面 5 : 確認ウィンドウ (システムとの接続切れ)



マニュアル 2. スキルレポートの作成とスキル診断

2.2 スキルレポートの作成

スキルディクショナリには、カテゴリ分けされた 400 項目以上のスキル項目があります。

興味のある分野（スキル分類） 目標とする職種に関連するスキル等にマークを付けた「スキルレポート」を、目的に応じて作成し、保存することができます。

スキルレポートの保存と保存したスキルレポートの呼出しについては、「(4) スキルレポートの保存」、「(5) スキルレポートの呼出し」を参照してください。

(1) スキルレポートを作る画面の表示

ログイン後に表示される [画面 1 : TOP 画面] のメニューエリアにある [スキルレポートを作る] をクリックして、[画面 2 : スキルレポートを作る画面] を表示します。

スキルレポートを作る画面には、スキルディクショナリの全スキル項目の一覧 が、スキルカテゴリ、スキル分類毎に表示されます。

また、各スキルの保有状況を入力するレベル診断ボタン（L0~L7） は全て L0 の状態です（「2.3 スキル診断」参照）。

(2) 職種に関連するスキルの把握

目標とする職種に関連したスキルを把握します。

対象の職種を指定するために [職種参照] ボタン を押して [画面 3 : 職種選択画面] を別画面で表示します。

職種一覧の最右列に表示されている専門分野をクリックすると選択色（緑色）に変わります。再度クリックすると非選択色（無色）に変わります。

職種の選択が完了したら [確定] ボタン を押すと、スキルレポートを作る画面に表示されているスキル項目うち、指定した職種の関連スキルが薄黄緑色に変わります（ ）([画面 4 : スキルレポートを作る画面（指定職種の関連スキル表示）] 参照）。

職種は複数選択することができます。

[確定] ボタン を押しても [画面 3 : 職種選択画面] は閉じません。引き続き職種を指定し、[確定] ボタンを押して、スキルレポートを作る画面上の指定職種の関連スキルを確認することができます。

[リセット] ボタン を押すと、選択した職種が全て非選択になります。

[閉じる] ボタン を押すと [画面 3 : 職種選択画面] が閉じます。

画面 1 : TOP 画面（スキルレポートを作るを選択）



画面 2 : スキルレポートを作る画面



画面 3 : 職種選択画面



画面 4：スキルレポートを作る画面（指定職種の関連スキル表示）



(3)スキルを選択

指定職種の関連スキル（薄黄緑色）やスキル分類を参考にして、自分が習得や向上を目指すスキル項目のレ点列 をクリックしてレ点を付加します。レ点は、スキル診断の対象を意味します。

画面 5：スキルレポートを作る画面（スキルの選択）



レ点を付けたスキル項目に絞って表示するには、表示切替えのドロップダウンリストで「レのみを表示」を選択して「表示切替」ボタン を押し、切替えます（「画面 7：スキルレポートを作る画面（レ点のみ表示）」参照）。

画面 6：スキルレポートを作る画面（表示切替え）



(4)スキルレポートの保存

作成した「スキルレポート」は5つの保存領域のいずれかに保存できます。「保存」ボタン を押して、「画面 8：保存先の指定画面」を表示します。

保存しないと作成したデータは破棄されるので注意してください。

ログイン後、または他画面から移動して「スキルレポートを作る画面」を表示した際には、最後に保存したスキルレポートが表示されます。

画面 7：スキルレポートを作る画面（レ点のみ表示）



マニュアル 2. スキルレポートの作成とスキル診断

[保存先番号] を選択し、選択した番号の [名称] (最大 20 文字) を入力して、[はい] ボタン を押します。表示中のスキルレポートが指定した保存先に保存され、保存先番号、名称が表示されます ([画面 9: スキルレポートを作る画面 (スキルレポート保存後)])。

保存されるデータはスキルに付けた点、ならびにスキル診断 (「2.3 スキルの診断」参照) の結果です。

名称が指定されていない場合は、(未設定) と表示されます。
また、スキルレポートを作る画面をはじめて開くと、保存先番号は 1、前回保存日は空白として表示されます。

[いいえ] ボタン を押すと、[画面 7: スキルレポートを作る画面] の [保存] ボタン を押す前の状態に戻ります。

画面 8: 保存先の指定画面

チェックした保存先に、指定の名前を付けて保存します。よろしいですか？

	番号	名称	保存日
<input checked="" type="radio"/>	1	ビジネススクレータのスキル	
<input type="radio"/>	2	未設定	
<input type="radio"/>	3	未設定	
<input type="radio"/>	4	未設定	
<input type="radio"/>	5	未設定	

(5) スキルレポートの呼出し

保存したデータを呼出して確認、編集するには、[呼出し] ボタン を押して [画面 10: 呼出元の指定画面] を表示します。

表示された [名称] と [保存日] を確認し、呼出すデータが格納されている保存先番号 を選択して [はい] ボタン を押すと、指定した保存先からスキルレポートが呼出されて画面に表示されます。

[いいえ] ボタン を押すと、[呼出し] ボタン を押す前に戻ります。

画面 9: スキルレポートを作る画面 (スキルレポート保存後)

TOP スキルレポートを作る スキルレポートを見る 情報管理画面の再入力

スキルレポートを作る

保存先番号: 1 名称: 未設定

呼び出し元: 表示日時: 呼出し: 保存: 編集: 削除

スキルカテゴリ	スキル名称	スキル項目	スキル値	スキル日
マネジメント	戦略的・市場競争の評価と選定	ビジネス成長計画策定	100	2015年05月08日

画面 10: 呼出元の指定画面

選択したスキルレポートを呼出します。よろしいですか？

	番号	名称	保存日
<input type="radio"/>	1	ビジネススクレータのスキル	2015年05月08日
<input checked="" type="radio"/>	2	ネットワークのスキル	2015年05月08日
<input type="radio"/>	3	未設定	
<input type="radio"/>	4	未設定	
<input type="radio"/>	5	未設定	

画面 11: 確認ウィンドウ (編集データ破棄の確認)

作成中のスキルレポートが破棄されます。よろしいですか？

21 22

マニュアル 2. スキルレポートの作成とスキル診断

2.3 スキルの診断

作成した「スキルレポート」の各スキル項目の保有状況を診断します。

(1)スキルレポートを作る画面の表示

ログイン後に表示される[画面1: TOP 画面]のメニューエリアにある[スキルレポートを作る]をクリックして、[画面2: スキルレポートを作る画面]を表示します。
最後に保存したスキルレポートが表示されます(「保存先番号」、「名称」に表示されたデータの情報が表示されます)。

(2)スキルの診断

各スキル項目について、関連知識の保有状況、スキルの活用経験等に則して、スキル熟達度をレベル1～レベル7の7段階で判断し、該当するレベルのラジオボタンをクリックします。

各スキル項目の関連知識項目やスキル熟達度の回答基準の参照、スキル診断に伴う備考の入力をするには、該当するスキル項目の名称をクリックして、[画面3: スキル診断詳細画面]を表示します。

画面1: TOP 画面



画面2: スキルレポートを作る画面



知識項目は、はじめは表示が折りたたまれています。[知識項目]タグ()をクリックすると、該当スキル項目の関連知識項目が表示されます([画面4: スキル診断詳細画面(知識項目が開いた状態)]の参照)。もう一度クリックすると閉じます。

知識項目()スキル熟達度の回答基準を参照して、スキルの回答レベルを選択し、スキル診断の根拠や備忘録を備考(最大30文字)に入力して、[更新]ボタンを押します。

[画面3: スキル診断詳細画面]が閉じて、スキルの回答レベルが[画面2: スキルレポートを作る画面]に反映されます。

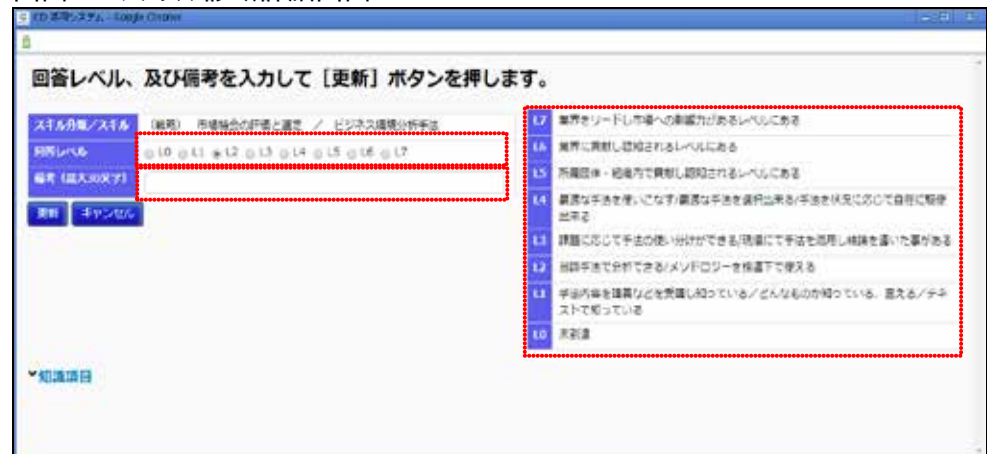
[キャンセル]ボタンを押すと入力データが破棄されて画面が閉じます。

[画面3: スキル診断詳細画面]が開いている状態で[画面2: スキルレポートを作る画面]の他のスキル項目をクリックすると、表示データが切り替わります(更新していないデータは破棄されます)。

スキルの診断が完了したら、データを保存します(「2.2 スキルレポートの作成 (4)スキルレポートの保存」参照)。

スキルの診断結果のデータが保存されるのは、レ点を付けたスキル項目のみです。

画面3: スキル診断詳細画面



画面4: スキル診断詳細画面(知識項目が開いた状態)



3. 情報処理技術者試験合格情報の入力

合格している情報処理技術者試験の試験名称を入力します。
スキルレポートを出力する際に、入力した試験名称およびスキル項目に関連した試験の技術レベルが出力されます（スキルレポートの出力は、「4.診断結果(2)診断結果の出力」参照）。

(1)情報処理技術者試験の合格情報入力画面の表示

ログイン後に表示される〔画面1：TOP画面〕のメニューエリアにある〔情報処理技術者試験の合格入力〕をクリックして、〔画面2：情報処理技術者試験の合格情報入力画面〕を表示します。

試験名称一覧の試験名をクリックすると、選択色（緑色）に変わります。
再度クリックすると、非選択色（無色）に変わります。
試験名称の選択が完了したら、〔保存〕ボタンを押すと、選択した試験名称の情報が保存されます。

〔表示時に戻る〕ボタンをクリックすると、〔情報処理技術者試験の合格入力〕をクリックして、〔画面2：情報処理技術者試験の合格情報入力画面〕を表示した直後の状態に戻ります。

画面1：TOP画面



画面2：情報処理技術者試験の合格情報入力画面



4. 診断結果の参照

作成したスキルレポートならびにスキル診断結果を参照します。

(1) 診断結果の表示

ログイン後に表示される[画面 1：TOP 画面]のメニューエリアにある[スキルレポートを出力する]をクリックして、[画面 2：スキルレポートを見る画面]を表示します。

[画面 2：スキルレポートを見る]には、スキルレポートを作る画面で最後に保存したスキルレポートのデータ()が表示されます(「保存先番号」、「名称」に、表示されたスキルレポートのデータの情報が表示されます)。

保存されている他の診断結果に表示を切替えるには、[呼出]ボタンを押して[画面 3：呼出元の指定画面]を表示します。

保存されているデータ一覧の[名称]と[保存日]を確認して、呼出すデータが格納されている保存先番号を選択し、[はい]ボタンを押します。指定した保存先から[スキルレポート]が呼出されてスキル診断結果詳細画面に表示されます。

[いいえ]ボタンを押すと、[画面 2：スキルレポートを出力する画面]で[呼出し]ボタンを押す前の状態に戻ります。

[画面 2：スキルレポートを出力する画面]で、各スキル項目の関連知識項目やスキル熟達度の回答基準を参照するには、該当するスキル項目をクリックして、[画面 4：スキル診断結果詳細画面]を表示します。

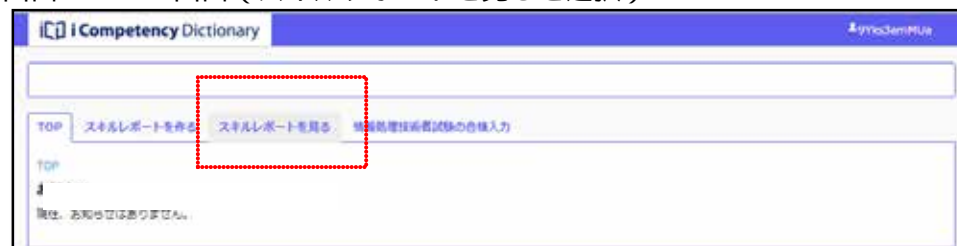
[画面 4：スキル診断結果詳細画面]には、スキル項目の診断結果、備考、診断基準の説明、関連する知識項目、研修情報、資格情報が表示されます。知識項目、研修情報、資格情報は、はじめは表示が折りたたまれています。[知識項目]タグ、[関連研修・書籍情報]タグ、[関連資格情報]タグをそれぞれクリックすると、該当スキル項目の知識項目、関連研修情報、関連資格情報の一覧が表示されます。

[画面 5：スキル診断結果詳細画面(研修・資格情報一覧の表示)]は、[知識項目]タグをクリックして知識項目を表示した例です。

表示を折りたたむ場合は、再度タグをクリックします。関連資格情報の一覧も同様に表示・非表示を切替えることができます。

[画面 2：スキルレポートを出力する画面]に戻る場合は、[戻る]ボタンを押します。

画面 1：TOP 画面(スキルレポートを見るを選択)



画面 2：スキルレポートを見る画面



画面 3：呼出元の指定画面



画面 4：スキル診断結果詳細画面



画面 5：スキル診断結果詳細画面(知識項目を表示)



画面 6 : スキル診断結果詳細画面 (研修・資格情報一覧の表示) は、[関連研修・書籍情報] タグ、[関連資格情報] タグのみをクリックして、研修・資格情報一覧を表示しています。

各研修・書籍の [詳細] リンク、資格の [詳細] リンク をクリックすると、さらに詳細な情報を別画面で表示することができます。

[閉じる] ボタン を押すと [画面 4 : スキル診断結果詳細画面] が閉じます。

[画面4：スキル診断結果詳細画面]を閉じると、表示されている全ての研修。書籍詳細情報画面、資格詳細画面も閉じます。

[詳細情報の URL] に記載されたサイトは、各研修・資格の主催組織が提供する、活用システムの外部サイトです。

入学者別/レベル	試験科目	試験時間(科目と並走)	ビシネス認定受験者
試験レベル	L0 ≧ L1 ≧ L2 ≧ L3 ≧ L4 ≧ L5 ≧ L6 ≧ L7		
備考 (最大30文字)			
申し込む			

17

世界をリードし市場への牽動力があるレベルにある

16

世界に競争し認知されるレベルにある

15

所轄国・地域内で競争し認知されるレベルにある

14

先進な手法を使いこなす/先進な手法を駆使できる/手法を状況に応じて自在に駆使できる

13

課題に応じて手法を使い分けできる/得意に得意な領域し経験を積んだ事がある

12

課題に応じて分析できる/メンタロジを指導下で使える

11

学内内容を講義などを通して知っている/どんなものが始まっている。覚える/テキストで知っている

10

未到達

▼ 知識項目

▼ 関連研修・書籍情報

主眼	名称	開催/習得レベル	区分	評価
日本マシメン	システム要件定義2-機能要件編-	2	集合研修	評価
日本インフォメーションアカデミー	通信管理システムのコンテナネットワーク管理の改訂版	4	集合研修	評価
日本ビシネス研修	システム要件定義2-機能要件編-	2	集合研修	評価

▼ 関連資格情報

主眼	名称	習得レベル	区分	評価
独立行政法人 情報処理推進機構	システム監査試験	1	集合研修	評価
独立行政法人 情報処理推進機構	情報セキュリティマネジメント試験	2	集合研修	評価

研修詳細情報				
見る				
項目名	内容			
研修コード	ILT-NM-PJ292			
区分	業務研修			
分野	IT系マネジメント			
研修種別	プロジェクト管理			
研修名	事例で学ぶプロジェクト計画の強化コース			
研修ID	PJ292			
研修日数	2日 夜			
費用	¥6,400円			
実施場所	東京			
研修概要	プロジェクトを成功に導くためのプロジェクト計画とはどういうものかを、PMBOK®ガイドの計画プロセスを題材として学びます。その上で、4 Tプロジェクトでは具体的にどのような計画でなければならぬのかを学びます。			
対象者、前提知識	これからプロジェクトマネージャを目指す方、プロジェクトマネジメントの基礎知識をお持ちの方。			
研修のゴール（※ 実務に基づく実習により、実務的プロジェクト計画書が作成できる。）				
詳細情報のURL	https://www.neclearning.jp/courseoutline/c/coursedetail/292/			
関連スキル	スキル分類	スキル項目	現在のレベル	研修レベル
(基礎) 見積り手法		作業の見積り手法	L2	2
		コストの見積り手法		2
(高度) プロジェクトマネジメント手法		プロジェクトマネジメント		2
		プロジェクト統合マネジメント		3

資格詳細情報				
詳しく見る				
項目名称	内容			
資格コード	JAB-IPA-I/P			
区分	初級マテリアル			
主催	独立行政法人 経済政策推進機構			
試験・認定・資格 付を科適用する社会人に求められる基礎知識				
概要	試験・認定・資格 付/入邦一試験名			
試験・認定・資格 (対象者) 職業人が共通に備えておくべき情報技術に関する基本的な知識をもと、情報技術に関わる業務に就くが、担当業務に対して情報技術を運用していくうえで必要とするもの				
詳細情報はこちら	https://www.jilec.jp/gp/t_1_tester/seido_gaiyo.html			
関連スキル	スキルの名称	スキル項目	相応のレベル	育成レベル
[戦略] 市場機会の評価と選定	ビジネス環境分析手法 ビジネス戦略と目標・評価 業界動向把握の手法 経営管理システム 経営戦略手法 業務プロセス改善の手法 市場調査手法	ビジネス環境分析手法	L2	1
		ビジネス戦略と目標・評価	L3	1
		業界動向把握の手法		1
		経営管理システム	L5	1
		経営戦略手法	L3	1
		業務プロセス改善の手法	L3	1
		市場調査手法		1
[戦略] マーケティング	ブランド・販路戦略手法 マーケットコミュニティアーション戦略手法			1 1

ICD | Competency Dictionary Admin/Settings

TOP [スキルレポートを見る](#) [スキルレポートを編集](#) [技能取得履歴表の印刷の仕方](#)

スキルレポートを編集

[保存](#)
[印刷](#)
[上一步](#)
[次一步](#)

[上一步](#)
[保存](#)
[印刷](#)
[上一步](#)
[次一步](#)

スキルカテゴリ	スキル名	スキル説明	スキル取得	レベル	備考
メソッド	(部門) 市場調査と顧客との関係	ビジネス環境分析手法	✓	1.2	初級基礎
		ビジネス戦略と市場分析	✓	1.2	
		業界動向の把握	✓	1.2	
		顧客ニーズの把握	✓	1.2	
		競合分析	✓	1.2	
	(部門) マーケティング	マーケティング戦略	✓	1.2	初級基礎
		マーケティング手法	✓	1.2	
		マーケティングツール	✓	1.2	
		マーケティング効果測定	✓	1.2	
		マーケティングレポート	✓	1.2	
	(部門) 製品・サービス開発	製品開発	✓	1.2	初級基礎
		サービス開発	✓	1.2	
		製品開発プロセス	✓	1.2	
		サービス開発プロセス	✓	1.2	
		製品開発レポート	✓	1.2	
	(部門) 経営戦略	経営戦略	✓	1.2	初級基礎
		経営戦略	✓	1.2	
		経営戦略	✓	1.2	
		経営戦略	✓	1.2	
		経営戦略	✓	1.2	

出力形式は、以下の 2 つが用意されています。用途に応じていずれかのラジオボタン を選択します。

- Ⅰ スキルレポート (PDF ファイル)
PDF ファイル形式の表示、ダウンロード
- Ⅰ スキルレポート (テキストデータ)
スキルと診断データのテキストデータファイルのダウンロード (iCD 用データファイル)

さらに、備考等のオプション情報の出力有無を選択します ()。

出力するデータに、管理番号 (最大 20 文字の英数字) 氏名 (最大 20 文字の任意の文字) を追記したい場合は、該当項目をチェックし、追記する値を入力します (21)。

[画面 10 : スキルレポート出力指定画面] は、氏名と管理番号を設定し、備考出力を選択した例です。

診断結果の出力のために記入した管理番号、氏名は、システムには一切保存されません。

出力形式に「スキルレポート (PDF ファイル)」を指定して [はい] ボタン 22 を押すと、PDF ファイルがダウンロードされます。

[いいえ] ボタン 23 を押すと、[画面 9 : スキルレポートを見る画面] で [スキルレポート出力] ボタン を押す前の状態に戻ります。

「画面 11 : スキルレポート」は、ダウンロードされた「スキルレポート (PDF ファイル)」の表示例です。

出力形式の「スキルの診断レポート (テキストデータ)」を指定して [はい] ボタン 22 を押すと、テキストファイルがダウンロードされます。

画面 10 : スキルレポート出力指定画面

画面 11 : スキルレポート (PDF ファイル)

i Competency Dictionary

スキルレポート

作成日 2015/05/08

管理番号 : 5832345

姓 名 : A

(「スキル熟達度基準」が左側に掲載されています)

※ 合格した情報処理技術者試験の得意レベル

ページ 1 / 2

スキルカテゴリ	スキル分類	スキル項目	回答値	*試験	備考
マネジメント	(戦略) 市場機会の評価と選定	ビジネス環境分析手法	L3	3	
		ビジネス戦略と目標・評価	L3		
		業界動向把握の手法	L3		
		経営管理システム	L2		
		経営戦略手法	L2		
		最新技術動向把握の手法	L4		
		市場調査手法	L2		
	(戦略) マーケティング	ブランド・製品戦略手法	L2	3	
	(戦略) 製品・サービス戦略	製品戦略手法	L3	3	
		サービス戦略手法	L3		
ITSA戦略手法		L3			
データセンタ戦略手法		L3			
(戦略) 販売戦略	B2Bマーケティング戦略手法	L2			

i Competency Dictionary

スキル熟達度基準

ページ 1 / 2

	テクノロジー	メソッドロジ	関連知識
L1	業界をリードし市場への影響力があるレベルにある		
L2	業界に貢献し認知されるレベルにある		
L3	所属団体・組織内で貢献し認知されるレベルにある		
L4	非構造化要件を考慮して最適化できる。最適解が出せる/定石外しができる/高度情報処理試験に合格するレベル	最適な手法を使いこなす/最適な手法を選択出来る/手法を状況に応じて自在に駆使出来る	関与する業務・業務の上級管理者に對しあるべき姿について議論できる
L3	構造化要件が作成できる/自立してある限定条件で仕事ができる	課題に応じて手法の使い分けができる/現場にて手法を活用し、結果を導いた事がある	関与する業務・業務のIT領域の課題点に對し解決策を提案した事がある
L2	指示があると使える。活用できる/実務経験がある	当該手法で分析できる/メソッドロジを指導下で使える	関与する業務・業務のIT領域の課題点を知っている
L1	技術内容を講義等を受講し知っている/知識がある	手法内容を講義等を受講し知っている/どんなものか知っている。言える/テキストで知っている	関与する業務・業務がどんなものか知っている。言える/有価等の公開情報で知っている

情報処理技術者試験：合格試験一覧

基本情報技術者試験

応用情報技術者試験

[画面 12 : ファイルダウンロード確認画面] は、Internet Explorer を使用して、テキストファイルをダウンロードした時に表示される画面です。「保存」を選択すると、ダウンロードファイルが指定フォルダに保存されます。

画面 12 : ファイルダウンロード確認画面